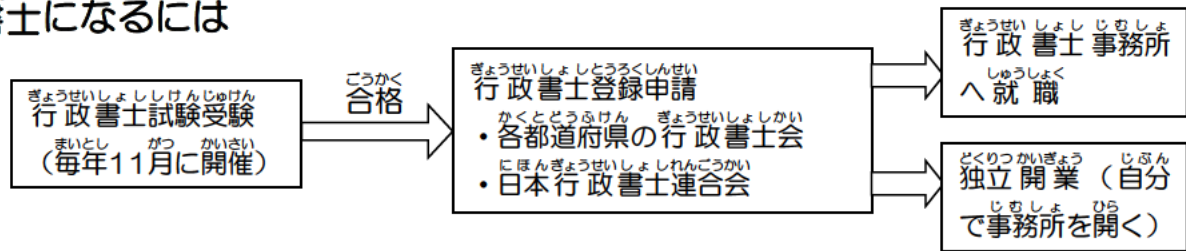


20 行政書士

行政書士は、法律に基づいて官公署に提出する書類や、権利と義務、事実の証明の書類を作成すること、相談に応じることを業務とする法律の専門家です。長年日本に住んでいる外国人が、日本の国籍を取得したい時などに相談に乗るのも行政書士の仕事の一つです。

また、誰でも試験を受けることができるので、働きながら勉強し、試験を受ける人もたくさんいます。

行政書士になるには



<早くから準備をしましょう>

行政書士になるためには、憲法や民法などの様々な法令の知識を問題とする行政書士試験に合格しなくてはなりません。高い日本語能力や法律の知識が求められます。早くから日本語や学校の勉強と母国語の上達に心がけましょう。

<資格を取れば どのくらいに就職できるの？>

行政書士事務所へ就職する、または独立開業（自分で事務所を開く）の2つの方法があります。行政書士の収入は、行政書士としてどんな仕事をするのかによって、年収200万円～600万円以上です。

<費用（学費）はどれくらい？>

試験に合格するために、学校（予備校）に通う方法と、独学と言って、自分で勉強する方法の2つがあります。法律の知識がある人は、参考書を買って独学で勉強する人が多いです。しかし、独学で勉強し、合格することは難しいため、多くの人は学校（予備校）に通うことを選んでいます。

学校（予備校）によって受講料は違いますが、1年間で約20万円かかります。また、通信講座で勉強することも可能で、学校（予備校）に通うよりも比較的安く、半年で約6万円かかります。